



signia

Pure 312 AX 取扱説明書



医療機器のクラス：管理医療機器
一 般 的 名 称：耳かけ型補聴器
販 売 名：補聴器 AXシリーズ
形 式：Pure 312 AX

このたびは Pure 312 AX をお買い求め頂き、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

■補聴器の使用、性能についての注意事項

- 補聴器は聴力低下を補う医療機器です。他の目的には使用しないでください。
- 補聴器は聞こえに合わせた調整をおこなう必要があります。必ずご自分にあつた聞こえに調整してください。調整には専門の知識を必要としますので、補聴器の調整はお買い求めの販売店にご依頼ください。なお、この補聴器は、補聴器販売店の店頭における購入および当該販売店（または当該販売店の正式な委託を受けて補聴器の調整をおこなう者）による使用前の適切な調整を前提に製造・出荷されております。従つて、通信販売などで本品を購入され、かつ適切な調整をおこなわずに本品を使用したことに起因してお客様に生じたいかなる事故もしくは被害も、当社は賠償・保証いたしかねますので、ご了承ください。
- 補聴器は小さすぎる声、遠くの声、周囲の雑音が大きいときなどは十分に聞き取る効果が発揮できないことがあります。
- 補聴器を使用しても聞こえが悪くなる前と同じ聞こえに戻るものではありません。また、聞こえには個人差があります。
- 耳鼻咽喉科医師の受診を勧められたときは、ぜひ受診しましょう。
- 聴力に変化があつたり、使用する環境が変わつたりすると、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。年に一度は聴力測定を受けることをお勧めします。
- サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。

※この取扱説明書の内容は2025年7月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。

※本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。

目次

- ご使用前に 2ページ
- 安全上のご注意(必ずお守りください。) 4ページ
- 防水性能について 10ページ
- 付属品の確認 12ページ
- 各部の名称 14ページ
- モールド・スリーブ・ドームの取扱い 16ページ
- 電池の取扱い 18ページ
- 装用の仕方 20ページ
- 操作の仕方 24ページ
- アクセサリ 36ページ
- 補聴器に慣れるためのアドバイス 37ページ
- お手入れの仕方 38ページ
- 補聴器の設定 40ページ
- 故障かなと思われたときは 45ページ
- 技術資料 46ページ
- アフターサービスについて 47ページ

安全上のご注意(必ずお守りください。)

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

 **警告：** この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意：** この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 **禁止：** この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■より快適なご使用のための方法を説明しています。

 よりよく補聴器を使用するためのアドバイスとヒントです。

- 形式やオプションによって異なる機能を示します。
お買い求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるよう
 にご依頼ください。

警告

■補聴器や空気電池は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って補聴器などを飲み込まないように、周囲の人が常に注意してください。

■誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てずにすぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

- 空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- 胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

■空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

禁止

■補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

禁止

■ 下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなき。

■ 病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、補聴器をはずしてください。
- MRI検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



■ 補聴器による聴力低下を防ぐため次のことを守りください。

- 大きすぎる音を出さないでください。
- 喧しいところでは音量を控えめにするか、長時間使用しないようにしてください。

■ 補聴器は完全防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

■ 補聴器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

注意

■ 下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、かゆみ、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 補聴器の外観、音質、音量などに異常を感じたとき。

■ 空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや補聴器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- 充電しない。
- 分解したり、ショートさせたりしない。
- 加熱したり、火中に投入したりしない。
- 水などに濡らさない。
- 投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- 極性（+と-の向き）を間違えない。

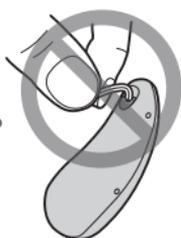
■ 空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

■ 引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、補聴器を使用しないでください。

注意

■ 取扱いはていねいに

- 補聴器は精密機械です。落としたり、ぶついたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが補聴器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないように注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧水、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取りはずしてください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 補聴器を電子レンジの中に入れてください。
- 補聴器とレシーバの接続部を引っ張らないでください。



■ 補聴器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは補聴器を必ずはずしてください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

■ もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら……

- 水中に落としたときは、よく水を切り、陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、真水で洗った後、よく水を切り陰干しして修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、補聴器を乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

■電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送局、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーター、超音波洗浄機・超音波センサーなどを使用しているところでは、放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。補聴器の故障ではありません。補聴器をとりはずすか、その場所から離れてください。

■指向性について

- 補聴器を指向性モードで使用すると、主に後方からの音を抑えます。そのため後方から近づく車両の音やクラクションなどが聞こえにくくなる場合があります。

■携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては補聴器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

■補聴器や電池がご不要になった場合

- ご不要になった補聴器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

■補聴器を使用しないときは、空気電池を補聴器から出して保管してください。

- 空気電池を補聴器に入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
- 万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

防水性能について

Pure 312 AXの防塵防水保護等級はIP68です。

これは「粉塵が中に入らない。」「一時的に一定水圧の条件に水没しても影響がない(水深1mに1時間浸かっても、浸水がないことを確認)。」ことを意味します。

完全防水とは異なるので次の注意が必要です。

■保護等級に関わらず補聴器を液体に浸したり、洗ったりすることを推奨いたしません。

■Pure 312 AXは、液体や湿気の多い状態にさらされることを前提として設計されてはおりません。

■完全防水(メンテナンスフリー)ではありません。

- 浸水状態や高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また、次の場所では使用しないでください。(お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など)
- 洗濯機、超音波洗浄機、薬剤(石鹼、洗剤など)で洗わないでください。
- 防水性能は紫外線や摩擦、薬剤などで経年劣化します。
- 化学薬品やその他の液体は付着させないでください。(日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など)
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。

- 水に濡れている最中、補聴器に水滴がついているときや手が濡れている状態での電池室の開閉は絶対にしないでください。
- 電池室の内側が濡れている状態では絶対に電池を入れしないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に補聴器を持ち込むときは、補聴器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えたり、マイクや音の出口などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
- ケースに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、販売店までご連絡ください。
- 補聴器は水に浮きません。
- アクセサリ(リモコン類)は防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください。

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを□に☑をいれて確認してください

スリーブまたはイヤチップ【1個】※1

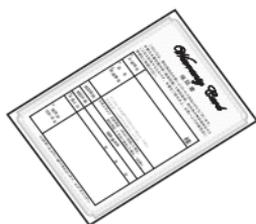


- ご注文時に選択されたサイズになります。
- アクセサリーで他のサイズもあります。
- イラストはスリーブです。

お試し空気電池【1個】※1



保証書【1部】※1



マグネット付き掃除
ブラシ【1本】



ストッパー
(コンチャロック)【1個】※1



耳せんが耳から外れないようにする付属品です。

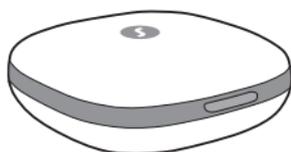
取扱説明書（本書）【1部】



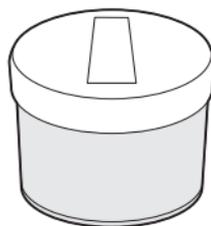
補聴器早わかりガイド【1部】



化粧ケース【1個】



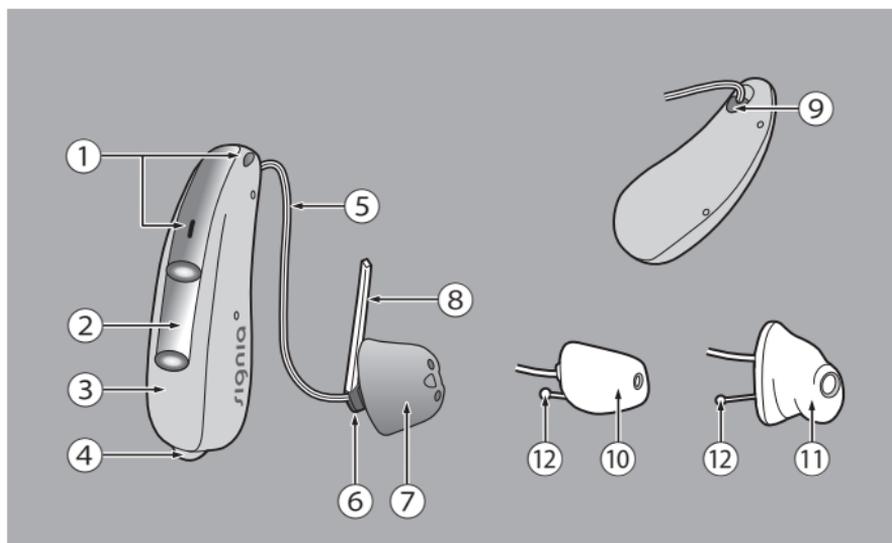
乾燥ケース【1個】



※1 両耳でのご注文の場合は2つ付属されます。

付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称



- ① 音の入口
 - ② ロッカースイッチ
 - ③ ケース
 - ④ 電池室
 - ⑤ 導線チューブ
 - ⑥ レシーバ（外装イヤホン）
 - ⑦ スリーブ / イヤチップ
 - ⑧ ストッパー（コンチャロック）
 - ⑨ 左右識別色（赤色＝右耳用、青色＝左耳用）
 - ⑩ クリックモールド（別売）※
 - ⑪ HP モールド（ミニレシーバ HP 専用）※
 - ⑫ テグス
- ⑤ ⑥ をまとめて「ミニレシーバ」と呼びます。
- ⑦ のイラストはスリーブです。
- ※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

■ ロッカースイッチの動作

ロッカースイッチは、選択した機能によっての操作が異なります。

選択した機能を下記の表に記入してください。

(にチェックを 入れてください)



機 能	左補聴器			右補聴器		
プログラムの選択 (26ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
音量の調節 (28ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
ストリーミング (32ページ参照)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
スリープモード (24ページ参照)			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>

※ロッカースイッチの機能を無効にすることもできます。

● ロッカースイッチの操作方法

	ロッカースイッチを押してください。
	ロッカースイッチを2秒間押してください。
	ロッカースイッチを4秒間押してください。

モールド・スリーブ・ドームの取扱い

■HPモールドの取付け/取外し方法(ミニレシーバHP専用)

ミニレシーバHPは、HPモールドと一体になっております。分離することはできません。

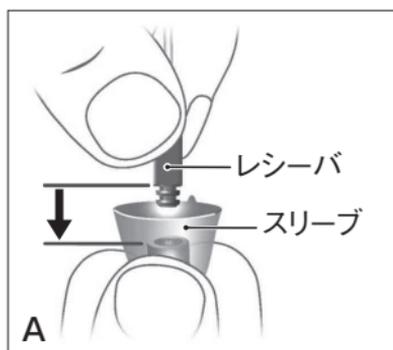
■クリックモールドの取付け/取外し方法

お求めの販売店にご依頼ください。

■スリーブ・イヤチップの取付け方法

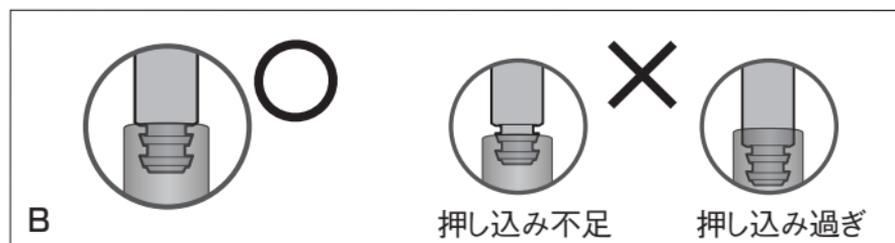
(イラストはスリーブです)

- ① スリーブを指で支えてレシーバをはめます。(図A)



- ② レシーバ先端部分が隠れれば完了です。(図B)

はめ込み部分が見えない場合は、スリーブを裏返して、はめ込み部分を確認します。



⚠ 注意

スリーブ・イヤチップは、レシーバの先端(段差部)に完全にはめてください。

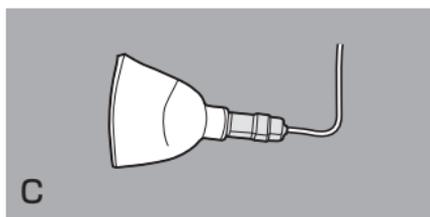
■スリーブ・イヤチップの取外し方法

(イラストはスリーブです)

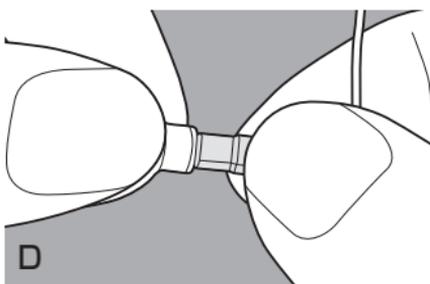
スリーブ・イヤチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換することをお勧めします。耳垢詰まりで音質が低減したり、シリコン樹脂が劣化して部品が損傷したりすることを予防できます。

- ①スリーブを裏返しにします。

(図C)



- ②レシーバ部分を押し込んでスリーブをレシーバから引き抜きます。(図D)



⚠ 注意

スリーブ・イヤチップを取外す際は、必ずレシーバ部分を押し込んでください。導線チューブなどを押し込んでスリーブ・イヤチップを取外そうとするとミニレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

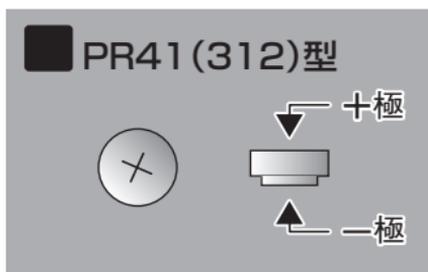
取外したスリーブ・イヤチップは、再使用しないでください。耳の中でスリーブ・イヤチップが外れる恐れがあります。取付け/取外しが難しい場合は、お求めの販売店にご依頼ください。

電池の取扱い

■電池は、補聴器用PR41型空気電池をご使用ください。

補聴器の形式により使用する空気電池のサイズが異なります。

※補聴器用空気電池は、乾電池と＋が逆で、出っ張りが－、平らが＋です。



■空気電池の入れ方

- ① 補聴器の電池室を開きます。
- ② 空気電池の“+”と“-”の向きを確認します。
- ③ 補聴器の電池室と空気電池の“+”表示が一致するように入れます。



⚠ 注意

- 空気電池を逆向きに入れないでください。
- 空気電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとしないで空気電池の“+”“-”の向きとサイズを確認してください。
- 空気電池を無理に入れてしまうと電池室が開かなくなったり、空気電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。

■ 空気電池の取出し方

- ① 補聴器の電池室を開きます。
- ② 空気電池を取出します。
マグネット付き掃除ブラシで
引っ張り出してください。



■ 空気電池について

- 補聴器用の空気電池をご使用ください。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 空気電池は、使用するときには電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても空気電池は消耗いたします。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 空気電池を携帯・保管する際は、小銭やクリップなどの金属製のものに触れないようにしてください。
- 空気電池の寿命は、補聴器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境（低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量）によって変わります。
- 特に冬場は、空気電池が苦手な空気の乾燥、ストーブなどによる二酸化炭素の増加、気温の低下が重なり、電池性能（電池寿命）が大幅に低下する場合があります。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で温めてからご使用ください。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れてください。補聴器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を補聴器から取出してください。
- 使用前の空気電池は、常温で保管してください。直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。高温多湿な環境での保管は漏液の原因になります。

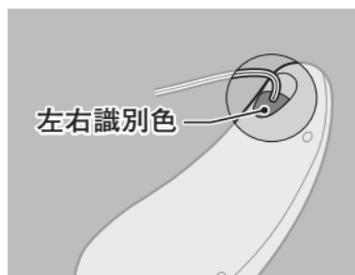
装用の仕方

■装用前に

補聴器は、左右のそれぞれの聴力に合わせて調整されています。

補聴器を装用する際は、左右を確認して装用してください。

- 赤色＝右耳用補聴器
- 青色＝左耳用補聴器



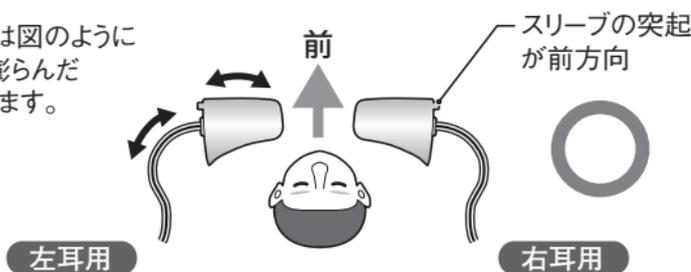
■スリーブの場合

スリーブは耳に入れる前に向きを確認する必要があります。

スリーブは、補聴器を装用したときにスリーブの突起が前の方に向きます。正しく取付けると下図のようにスリーブの曲がり方が導線チューブの曲がりに沿うようになります。

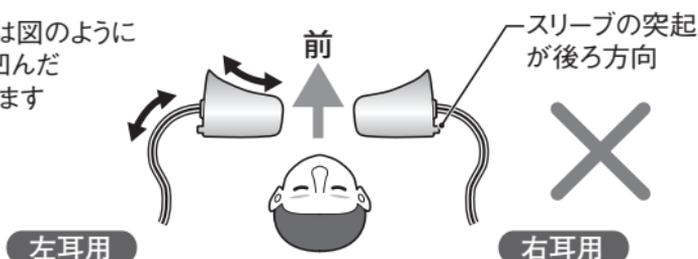
【正しい位置】

スリーブは図のように前方に膨らんだ形になります。



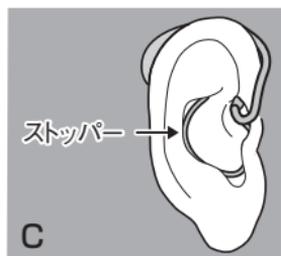
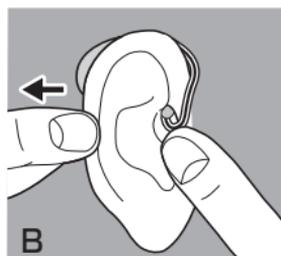
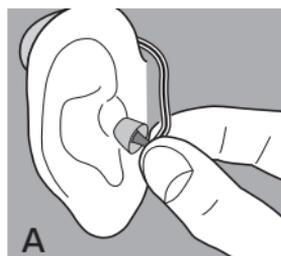
【誤った位置】

スリーブは図のように前方が凹んだ形になります



■補聴器のつけ方

- ① スリーブまたは、イヤチップがゆるんでいないことを確認します。
- ② 補聴器を耳にかけます。
- ③ 図Aのようにレシーバのレシーバ部分を人差し指と親指でつかみ外耳道に挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。
- ④ レシーバの導線チューブの曲がり部分が耳と接するぐらいまで図Bを参考に人差し指で押し込んでください。
- ⑤ 図Cのようにストッパーを耳のくぼみに這わせてください。



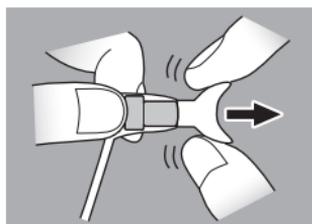
- ※ ストッパー（コンチャロック）は必要に応じてレシーバに取付けてください。
- ※ 耳の形状によりストッパーが耳のくぼみに入らない場合があります。その場合は、レシーバからストッパーを取外してご使用ください。

⚠ 注意

レシーバの導線チューブをつまんで外耳道に挿入しようとするとレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- レシーバには必ずスリーブ・イヤチップまたは、クリックモールドを使用してください。
- スリーブ・イヤチップは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまい危険です。
- 補聴器の装用前に必ずスリーブ・イヤチップを指でかるくしごいて簡単に外れないことを確認してください。(右図)
- レシーバにスリーブ・イヤチップ・クリックモールドを取付けずに耳の中に入れてください。
- レシーバを外耳道の奥深くまで無理に入れることは避けてください。
- 他人のスリーブ・イヤチップ・クリックモールドは使用しないでください。
- スリーブ・イヤチップが耳の穴に合わない場合やハウリング音(ピーピー音)が起きる場合は、別売のクリックモールド(特注耳せん)の使用をお勧めします。詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。



⚠ 注意

スリーブ・イヤチップの材質は、シリコン樹脂を使用しています。

万一、耳の穴の中にスリーブ・イヤチップが残ってしまった場合、耳の穴の奥深く押し込まないように注意して、耳鼻咽喉科医師または販売店にご相談ください。

■補聴器のはずし方

- ①曲がりの部分を指でつまみます。
- ②ゆっくり外耳道から取出します。
- ③補聴器を耳からはずします。



⚠ 注意

レシーバの導線チューブをつまんで外耳道から取出そうとするとレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

補聴器を引っ張ってレシーバを外耳道から抜き出さないでください。

無理に抜き出すと外耳道を傷つけたり、補聴器やレシーバを破損したりする可能性があります。



操作の仕方

■電源の入れ方と切り方

(ご使用の機能に チェックを入れてください)

i 補聴器の電源が入るとメロディが流れてお知らせします。

電池室を利用して

電源を入れる：空気電池を入れ電池室を完全に閉じます。

電源を切る：電池室を十分に開きます。

- 電池室を開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。

■スリープモード(ミュート)について

ロッカースイッチまたは別売のリモコンを利用して補聴器をスリープモード(ミュート)にできます。

スリープモードを解除すると、スリープモードになる前の音量とプログラム設定に戻ります。

- i**
- スリープモードは、補聴器を待機状態にするため、待機電力を消費します。
 - スリープモードが設定・解除されるとお知らせ音でお知らせします。(電源が入る際のメロディとは異なります)。スリープモードについてはリモコンの取扱説明書を参照してください。

ロッカースイッチを利用して

電源を切る：ロッカースイッチを長押ししてください。補聴器がスリープモードになります。

電源を入れる：補聴器がスリープモードのときロッカースイッチを長押ししてください。



リモコン(別売)を利用して

リモコンの取扱説明書をご覧ください。

- i** ● ロッカースイッチでスリープモードを操作するには、スリープモードの設定を有効にする必要があります。スリープモードの設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

■プログラム（聞こえ）の選択

（ご使用の機能に チェックを入れてください）

補聴器には、聞こえの設定を最大6つ※保存することができ、聞こえの状況や周囲の環境に合わせて設定を変更することができます。

補聴器の電源を入れると、常にプログラム1が呼び出されます。

※最大プログラム数は、クラスにより異なります。

（41ページ参照）

- i**
- プログラムの設定は、ご要望に合わせて調整できます。
 - 【プログラムの選択】機能を無効にすることもできます。
 - プログラムを切り換えたとき、お知らせ音でお知らせできます。
- お求めの販売店にて変更することができます。

ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチを押すと設定されたプログラムが順番に切り換わります。

① 上部のスイッチ
(1→2→3→……→1)

② 下部のスイッチ
(1→6→5→……→1)



- i**
- ロッカースイッチの機能を【プログラムの選択】として選択する必要があります。
 - 【プログラムの選択】スイッチとして選択した操作方法で機能が動作します。(15ページ参照)
 - スリープモードを有効にしていると、スイッチの長押し(4秒間)で補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。

【プログラムの選択】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

リモコン(別売)を利用して
リモコンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンアプリを利用して
弊社のスマートフォンアプリで補聴器のプログラムの選択を操作できます。

■ **音量の調節** (ご使用の機能にチェック を入れてください)

この補聴器の音量はお客様の聴力に適した音量に自動的に調節されます。手動で補聴器の音量を調節することもできます。

- i**
- 音量の変化幅を変更、または調節を停止することができます。
 - 音量を調節したとき、お知らせ音でお知らせすることができます。
- お求めの販売店にご依頼ください。

自動調節

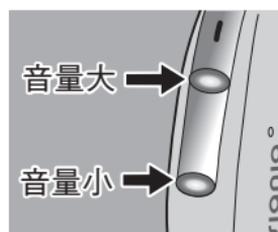
補聴器の音量は自動的に調節されます。

⚠ 注意

音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調整が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。

ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチの上部を押すと音量が大きくなり、下部を押すと音量が小さくなります。最も聞こえやすい音量に調節してください。



⚠ 注意

音量を調節しても音が大きすぎる、小さすぎると感じるときは再調節が必要です。お求めの販売店にご依頼ください。

- i**
- ロッカースイッチの機能を【音量の調節】として選択する必要があります。
 - 【音量の調節】スイッチとして選択した操作方法で機能が動作します。(15ページ参照)
 - スリープモードを有効にしていると、スイッチの長押し(4秒間)で補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。
- 【音量の調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

リモコン(別売)を利用して
リモコンの取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンアプリを利用して
弊社のスマートフォンアプリで補聴器の音量を調節することができます。

■ サウンドバランスの調節

補聴器の簡易的な音質を調節することができます。

スマートフォンアプリを利用して

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のサウンドバランスを操作できます。

- i**
- サウンドバランスの変化幅を変更することができます。
 - 【サウンドバランスの調節】機能を無効にすることもできます。
- 【サウンドバランスの調節】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

■ マニュアル指向性 (7AX、5AXのみ)

マニュアル指向性は、目の前にいる人の話に集中したいときや周囲の音を聞きたいときに聞こえの範囲をご自分で選択することができます。

スマートフォンアプリを利用して

弊社のスマートフォンアプリで補聴器のマニュアル指向性を操作できます。

- i**
- マニュアル指向性を使用するには、両耳に【マニュアル指向性の選択】機能に対応した補聴器を装着する必要があります。
 - マニュアル指向性は、プログラム1でのみ動作します。
 - マニュアル指向性を使い終わったら、指向性自動モードに戻してください。
- 【マニュアル指向性】の設定は、お求めの販売店にご相談ください。

■ ツインフォン

同じクラスのPure 312 AXを両耳に装着しているとき、電話の音声を両耳で聞くことができます。

① ツインフォンの機能、専用のプログラム設定については、お求めの販売店にご相談ください。

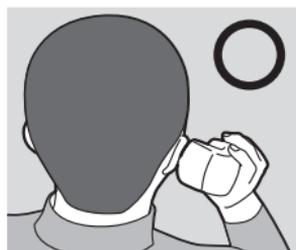
ロッカースイッチを利用して

ツインフォンの設定をしているプログラムに切替えます。

● 上手な受話器の持ち方

受話器の向き

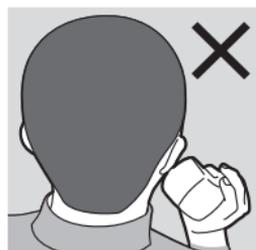
受話器は耳の真横から、補聴器にかぶせるように持ちます。



受話器を横から当てる



前から当てる



後ろから当てる

⚠ 注意

ツインフォンは、受話器を当てる補聴器を設定する必要があります。設定とは逆の補聴器に受話器を当ててもツインフォンは機能致しません。

■ストリーミング

注意

Bluetooth機能の使用が禁止されている場所(病院内や一部の飛行機、特に離着時など)では、スマートフォンアプリでBluetooth機能をオフにするか、補聴器の電源をお切りください。

●Bluetooth機器とのストリーミング

Bluetooth機器とペアリングをするとダイレクト通信でテレビの音声や音楽を楽しめます。スマートフォンアプリを使用して補聴器を操作してください。

 Bluetooth機器によっては、補聴器と直接ペアリングできない場合があります。その場合は別売のストリームラインマイク、またはストリームラインTVをお使いください。

ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチを押すとBluetooth機器とのストリーミング状態になります。

-  ● ロッカースイッチの機能を【ストリーミング】として選択する必要があります。
- 【ストリーミング】スイッチとして選択している操作方法で機能が動作します。(15ページ参照)
 - スリープモードを有効にしていると、スイッチの長押し(4秒間)で補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。再度長押しするか電源を入れなおすとスリープ状態が解除され音が出ます。

【ストリーミング】機能の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

● iPhoneでのオーディオストリーミング (2025年7月現在)

この補聴器はiPhoneに対応した補聴器です。iPhoneから直接電話を受けたり、音楽を聞いたりすることができます。

ハンズフリーのコールコントロール機能(7AX、5AX、3AXのみ)
iPhoneハンズフリー通話^{*}の開始と終了をプッシュボタンで操作できます。

※ iPhone11以降かつiOS15.2以上に対応

通話開始: 補聴器から着信音が聞こえたらロッカースイッチを1回押します。確認音が鳴り、通話が始まります。
ロッカースイッチを長押しすると着信拒否になります。

通話終了: ロッカースイッチを長押しします。確認音が鳴り、通話を終了します。

● Android端末(Android OS 10以上)でのオーディオストリーミング (2025年7月現在)

この補聴器はASHA(補聴器用オーディオストリーミング)に対応した補聴器です。お使いのスマートフォンがASHAに対応している場合は、スマートフォンから直接電話を受けたり、音楽を聴いたりすることができます。ただし、メーカーや機種によっては対応しない場合があります。

● スマートフォンとスマートフォンアプリの対応状況 (2025年7月現在)

i 使用できる端末・OSには制限があり、アプリのバージョンにより変化します。アプリストアでお確かめください。

iPhone、iPad、iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。Android は Google LLC の商標です。

Bluetooth[®] のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Sivantos はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■e2eワイヤレス通信

ワイヤレス対応補聴器を両耳に装着して、一方の補聴器を操作(音量の調節、音質の調節など)すると、もう一方の補聴器も同じように調節されます。

- i**
- e2eワイヤレス通信の機能については、お求めの販売店にご相談ください。
 - e2eワイヤレス通信の機能を無効にすることもできます。
お求めの販売店にご依頼ください。

▲ 注意

e2eワイヤレス通信の機能は、電子レンジ・IHクッキングヒーター・パソコン・プラズマテレビ・高圧線・蛍光灯などからの電磁波の影響を受けます。その場合は、電磁波の発生源から離れてください。

■電源の遅延動作について

- 補聴器の電源を入れてから時間(6秒、12秒、18秒)をおいて、音を出すことができます
- この機能を使用すればハウリング(ピーピー音)を心配することなく補聴器を耳に装着することができます。

- i**
- 電源ONのお知らせ音は、補聴器の電源を入れたときにメロディが流れ、設定時間を経過してから周囲の音が聞こえます。
 - 電源の遅延動作の設定は無効にすることもできます。
遅延動作の設定は、お求めの販売店にご依頼ください。

■ 空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗すると音が段階的に小さくなります。このときは新しい空気電池に交換してください。
- 補聴器から音が聞こえなくなった後、一旦電池室を開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くはご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取出してください。

i 空気電池が消耗したときにお知らせ音でお知らせすることができます。

お知らせ音が鳴ってから次のお知らせ音が鳴るまでの間隔を変更することができます。

お求めの販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

補聴器の調整によっては、お知らせ音が十分に聞こえない場合があります。

アクセサリ

■リモコン(別売)

miniPocket

補聴器のプログラムの選択、音量の調節を手元でおこなうことができます。

詳しい情報と操作方法は、お求めの販売店に相談するか、リモコンの取扱説明書をご確認ください。



miniPocket

i 他人のリモコンで補聴器の設定が変わってしまう場合は、お求めの販売店にご相談ください。

補聴器に慣れるためのアドバイス

補聴器に慣れる必要があります。いろいろな場所で聞いてみましょう。

- 静かな部屋を使用して、補聴器をつけることと音に慣れてください。声を出して新聞や本などを読んで、自分の声に違和感がなくなるまで、自分の声を聴く練習をします。



- 静かな部屋で1人の身近な人と話をする練習をします。



- 4~5人の人たちの会話を聞き、どの人が話しているのか聞き分ける練習をします。



- 単に聞くだけではなく“聞こう”とする意欲が大切です。



- 戸外で、いろいろな音を聞いて、何の音が聞こえるか練習します。

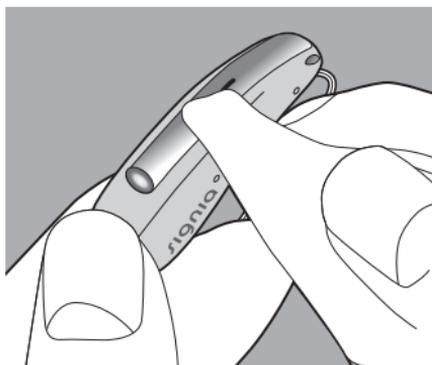


補聴器は初回の調整だけでは完成しません。
気になる点があれば、お求めの販売店に相談しましょう。

お手入れの仕方

- 補聴器は常に清潔にしておいてください。

- 補聴器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



⚠ 注意

- 補聴器を水で洗ったり、水に浸したりしないでください。
- お手入れ中に、補聴器に強い力を加えないでください。

- 補聴器のご使用後は、補聴器を乾いた布で拭いてください。(特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。)

補聴器を乾燥ケースに入れる際は、補聴器を乾燥ケースの中に入れてから、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。



① 乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。

その場合、新しい詰め替え用に交換してください。
湿気の状態にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。(梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。)

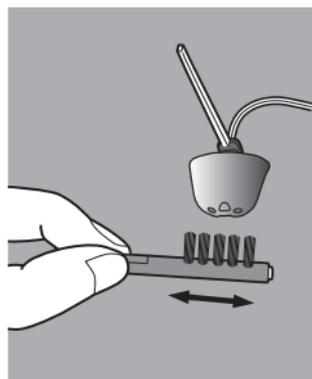
- スリーブ・イヤチップ・クリックモールド(別売)は常に清潔に保ちましょう。クリックモールドのクリーニングにはクリーニングシート・クリーニングタブレット(別売)をご使用になるとたいへん便利です。
- 毎日ご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。

■掃除の仕方

補聴器に付属しているブラシをお使いください。

耳垢が中に入らないようにブラシを上向き、レシーバを下向きにして掃除します。

スリーブ・イヤチップをご使用の場合は、掃除が終わったら必ずスリーブ・イヤチップの取付けを確認してください。もし緩んでいたら取外して、新品に交換してください。



図はスリーブです

⚠ 注意

スリーブ・イヤチップは消耗品です。取外したスリーブ・イヤチップは決して再利用しないで捨ててください。

補聴器の設定

お求めの販売店で、補聴器の仕様や補聴器に設定されているプログラムを下記の表に記入してもらってください。

(にチェックを 入れてください)

環境プログラムをどのようなときに選択すればよいのかを判断する際やクリックスリーブなどのご購入にご利用ください。

補聴器	
クラス	<input type="checkbox"/> 7AX <input type="checkbox"/> 5AX <input type="checkbox"/> 3AX <input type="checkbox"/> 2AX <input type="checkbox"/> 1AX
空気電池	<input checked="" type="checkbox"/> PR41 (312) 型
電源の遅延機能	<input type="checkbox"/> 18秒 <input type="checkbox"/> 12秒 <input type="checkbox"/> 6秒 <input type="checkbox"/> 無効
電池消費時のお知らせ音の間隔※1	<input type="checkbox"/> 1分 <input type="checkbox"/> 3分 <input type="checkbox"/> 5分 <input type="checkbox"/> 7分

お知らせ音	
音の種類	<input type="checkbox"/> メロディ <input type="checkbox"/> 信号音
環境プログラムの切り替え	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
音量調節の操作※2	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
音量調節の限界※3	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
音量調節の開始位置	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
電池容量の警告	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効
Bluetooth	<input type="checkbox"/> 有効 <input type="checkbox"/> 無効

環境プログラム(聞こえの)設定

プログラム番号	プログラム内容・使用環境
1	
2	
3	
4	
5 ^{※4}	
6 ^{※4}	

これら設定の変更は、お求めの販売店にご相談ください。

リモコン

形 式	<input type="checkbox"/> miniPocket
-----	-------------------------------------

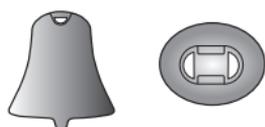
- ※1 ()は最初に鳴り始めるお知らせ音の間隔です。
- ※2 お知らせ音をメロディに設定していると音量が上がる際は高い音、音量が下がる際は低い音になります。
- ※3 音量が最大、または最小まで調整されたことをお知らせ音でお知らせします。
- ※4 7AX、5AX、3AXのみ

■お求めの販売店に、ご使用中のスリーブ・イヤチップにチェックを入れてもらってください。

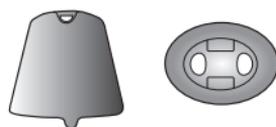
(にチェックを入れてください)

スリーブ3.0

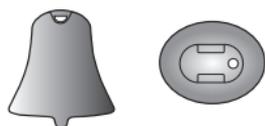
スリーブ3.0 XS
(Vented)



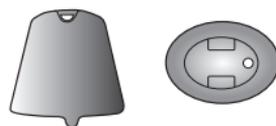
スリーブ3.0 S
(Vented)



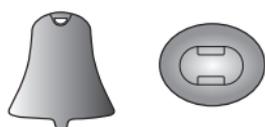
スリーブ3.0 XS
(Closed)



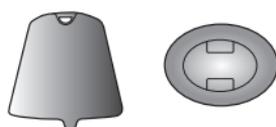
スリーブ3.0 S
(Closed)



スリーブ3.0 XS
(Power)

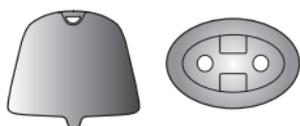


スリーブ3.0 S
(Power)

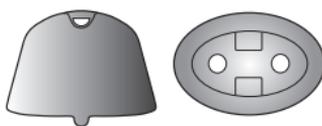


スリーブ3.0

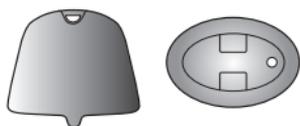
スリーブ3.0 M
(Vented)



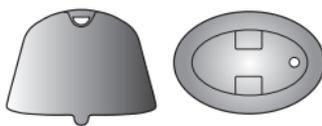
スリーブ3.0 L
(Vented)



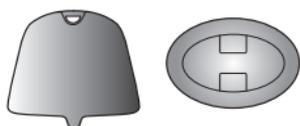
スリーブ3.0 M
(Closed)



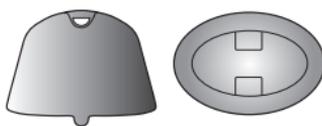
スリーブ3.0 L
(Closed)



スリーブ3.0 M
(Power)



スリーブ3.0 L
(Power)



イヤチップ3.0

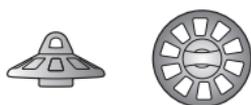
イヤチップ3.0 5mm
(オープン)



イヤチップ3.0 7mm
(オープン)



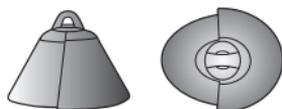
イヤチップ3.0 10mm
(オープン)



イヤチップ3.0 8mm
(チューリップ)



イヤチップ3.0 12mm
(チューリップ)



故障かなと思われたときは

補聴器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。

1 補聴器が汗や水分に濡れましたか？

はい

空気電池を取出した補聴器を乾燥ケースに入れて乾燥させてください。
(38ページ参照)

いいえ

2 空気電池が消耗していませんか？

はい

空気電池を交換してください。
(18・19ページ参照)

いいえ

3 クリックスリーブ/クリックドームが汚れていませんか？

はい

交換もしくは掃除してください。
(16・17・39ページ参照)

いいえ

4 クリックスリーブ/クリックドームが正しく耳に入っていますか？

いいえ

正しく耳に入れ直してください。
(20・21ページ参照)

はい

お求めの販売店に修理をご依頼ください。

技術資料

■動作、保管と輸送について

補聴器をご使用する際は下記の条件を確認してください。

	動作中
温度	0～50℃
相対湿度	5～93%
大気圧	700～1060hPa

長期間の保管や輸送には下記の条件を確認してください。

保管する際は、補聴器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

	保管	輸送
温度	10～40℃	-20～60℃
相対湿度	10～80%	5～90%
大気圧	700～1060hPa	700～1060hPa

■技術基準適合証明

形式：Pure 312 AX

  202-SMJ111

分解、改造すると電波法に抵触する恐れがあります。

アフターサービスについて

- **保証書（別に添付してあります。）**
保証書には必ず「販売店名、お買上日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。
- **保証期間中、修理依頼されるとき**
恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。
保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有償修理になります。
HPモールドの再作保証は製造日より1年間です。
クリックモールドの再作保証は製造日より120日です。
- **保証期間経過後の修理について**
お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償で修理いたします。
- **部品の保有期間**
この補聴器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。（部品の供給状況により、短くなる場合がございます。）
- **その他のお問い合わせは……**
アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。

製造販売業者：WSオーディオロジージャパン株式会社

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル 6F

TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133

※フリーコールにつながらない場合は、下記番号まで
お問合せください。

TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133

Document No. 04851-99T05-5Z00 JP-JPN | D00283980

Order/Item No. 210 186 00

Master Rev02, 10.2021

© 07.2025, WSAUD A/S. All rights reserved

Made for

 iPhone | iPad | iPod



* 2 1 0 1 8 6 0 0 E *

キ -21018600 / Rev.E 2025.7